

# 府中市エコ・レポート

(平成23年度報告)

～ 府中市職員による地球温暖化防止に向けた取組 ～

府中市職員エコ・アクションプラン  
ISO14001 環境マネジメントシステム

平成25年3月

府 中 市

# 目次

ページ

はじめに	1
編集方針・報告書の対象範囲	2
府中市役所の概要	3
世界共通の課題 ～地球温暖化対策	4
府中市の環境に対する考え	5
環境方針の実現に向けた行動	6
環境目的・目標と実績	8
「地球環境にやさしい生活」私たち職員はここに宣言します。	10
環境負荷低減行動	11
公共工事に伴う環境負荷の低減	14
環境マネジメントシステム	15
環境監査の結果	17
職員の声	18

# はじめに

最近の研究によると、気候変動や食糧生産、生態系の破壊など地球温暖化の影響が確実に現れていることがわかってきました。

2011 年は、先進国全体で温室効果ガス総排出量の削減目標を定めた「京都議定書」の約束期間（2008 年～2012 年）が始まり、4 年が経過しました。この削減目標の達成に向け、さらに 2012 年以降の中長期的な温暖化対策の道筋を模索するため、世界各国が集まり議論が活発化してきました。

日本においては、「京都議定書」以降の 2020 年までの中期目標と 2050 年までの長期目標として、温室効果ガス排出量削減目標を定めています。

府中市においては、行政サービスの提供や庁舎での事務・事業活動を通じ、また、市民生活や事業活動におけるエネルギー・燃料の消費・使用、廃棄物の排出・焼却などを通じて、地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を排出しています。地球温暖化は、対岸の火事ではなく、私たちの生活が原因となっていることを改めて認識しなければなりません。行政としては、環境施策を積極的に促進し、環境負荷低減活動を広げていく必要があります。

市では平成 23 年 3 月に「府中市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、市民、事業者、行政が一体となって地球温暖化対策に取り組み、温室効果ガス排出量を平成 32 年度までに平成 2 年度比で 15%削減することを目標としました。

また、府中市の職員は、自らの事務事業に伴う環境負荷の低減、地球温暖化防止の取組を積極的に推進するため、「府中市職員エコ・アクションプラン」を策定し、平成 13 年 4 月 1 日から実践しております。また、平成 14 年 2 月には、環境マネジメントシステムの国際規格である ISO14001 の認証を取得しました。平成 23 年度からは、「第 3 次府中市職員エコ・アクションプラン」に則り、実践しています。

「府中市エコ・レポート」は、市職員による取組結果を広く市民の皆様に公表するため、平成 14 年度から毎年度発行をしており、市職員の姿勢、職場での工夫などを、できるだけわかりやすく紹介するよう心がけて作成しております。

本レポートをお読みいただき、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成 25 年 3 月

## 編集方針

府中市では、平成14年度にはじめて府中市エコ・レポートを発行し、環境負荷低減行動について報告をしてきました。平成23年度から平成27年度までの5か年計画で第3次府中市職員エコ・アクションプランに基づき取組を推進しております。今号では平成23年度の活動の報告をいたします。

## 報告書の対象範囲

### ■対象期間

平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日まで。ただし、一部のデータについては、平成24年4月以降の活動も含んでいます。）

### ■データの集計範囲

府中市内にある市の施設として市役所本庁舎・第2庁舎のほか出先機関等を含めています。

なお、ISO14001に係る報告内容については、ISO14001の認証取得範囲である、本庁舎、第2庁舎、ふるさと府中歴史館を対象としています。

（対象施設については、3ページをご参照ください。）

### ■発行時期

平成25年3月

### ■府中市エコ・レポート（Web版）について

府中市ホームページのトップページの「府中で暮らす」をクリックし、「生活環境」の「環境」を選択していただくと、府中市エコ・レポート（PDFファイル）をご覧いただけます。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# 府中市の概要

(平成 24 年 4 月現在)

## ■ 組 織

部	課
政策総務部	政策課、財政課、秘書課、広報課、総務管理課、職員課
税務管財部	市民税課、資産税課、納税課、契約課、管財課、情報システム課、用地課
市民生活部	総合窓口課、保険年金課、住宅勤労課、市民活動支援課、経済観光課（農業委員会事務局）
文化スポーツ部	文化振興課、ふるさと文化財課、生涯学習スポーツ課、国体推進室、図書館、美術館
福祉保健部	地域福祉推進課、生活援護課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康推進課
子ども家庭部	子育て支援課、保育課、児童青少年課
環境安全部	防災課、環境政策課、地域安全対策課、ごみ減量推進課
都市整備部	管理課、計画課、土木課、公園緑地課、下水道課、建築課、建築指導課
地区整備推進本部	府中駅南口周辺整備担当、区画整理担当
	出納課
教育部	総務課、学務保健課、指導室
	選挙管理委員会事務局
	監査事務局
議会事務局	庶務課、議事課

## ■ 施 設

市役所本庁舎※<sup>1</sup>、府中駅北第 2 庁舎※<sup>2</sup>のほか、次の出先機関があります。  
(指定管理者の施設、市外の施設などは除く。)

市政情報センター	子ども家庭支援センター	教育センター
府中の森市民聖苑	保育所 15 か所	生涯学習センター
文化センター 11 か所	学童クラブ 22 か所	市民球場
女性センター	中央防災センター	市民陸上競技場
国際交流サロン(第 2 庁舎)	水防・防災ステーション	グラウンド管理所
観光情報センター	防災センター・防災倉庫	総合体育館
郷土の森観光物産館	リサイクルプラザ	地域体育館 7 か所
工業技術情報センター	現業事務所	中央図書館
(第 2 庁舎)	第一学校給食センター	地区図書館 12 か所
保健センター	第二学校給食センター	府中市美術館
保健センター分館	学校給食洗浄センター	ふるさと府中歴史館

### ※<sup>1</sup> ※<sup>2</sup>

ISO14001 の認証取得範囲は、市役所本庁舎、府中駅北第 2 庁舎、ふるさと府中歴史館です。

# 世界共通の課題 ～地球温暖化対策

近年、気候変動や食糧生産、生態系の破壊などのさまざまな影響をもたらす地球温暖化が深刻化しています。

最新の研究によれば、人為的な活動により、地球全体の平均気温は、過去 100 年間（1906～2005 年）で 0.74℃上昇したことが明らかとなりました。21 世紀末（2090 年から 2099 年）の平均気温は、1980 年から 1999 年までに比べ、環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会においては約 1.8℃上昇、また、化石エネルギーを重視しつつ高い経済成長を実現する社会では約 4.0℃上昇すると予測されています。（資料：気候変動に関する政府間パネル [IPCC] 第 4 次評価報告書）

地球温暖化対策として、平成 2（1990）年に国連環境開発会議（地球サミット）において、「機構変動に関する国際連合枠組条約（気候変動枠組条約）」が採択されました。平成 9（1997）年に京都で開催された気候変動枠組条約第 3 回締約国会議（COP3）では、温室効果ガスの削減目標を定めた「京都議定書」を発行し、日本は平成 2（1990）年比で 6%削減することが義務付けられました。

また、京都議定書の第 1 約束期間（2008～2012 年）終了後の次期枠組みが進められており、平成 23（2011）年に開催した第 17 回締約国会議（COP17）において、平成 25（2013）年以降も京都議定書を延長し第二約束期間を設定することと、平成 27（2015）年までに京都議定書に批准していない米中を含む全ての国が参加する新枠組みを構築することに合意がなされました。日本は、第二約束期間には参加せず、自主的な取り組みを継続する立場を示しています。

なお、直近の平成 24（2012）年に開催した第 18 回締約国会議（COP18）では、「京都議定書」に代わる平成 32（2020）年以降の温暖化対策の新枠組に向けた作業計画を決定しました。

## 地球温暖化による影響が現れている

海水の熱膨張や氷河の融解による海面上昇



台風や洪水などの異常気象、砂漠化

野生生物の絶滅



# ■ 府中市の環境に対する考え

府中市は、地球温暖化をはじめとする地球環境問題への対応のため、自らが  
行う事務事業に伴う環境への負荷を低減するために行動しています。そのため  
に、行動の基本として「府中市環境方針」を策定しています。

## ● 府中市環境方針

### ＜基本理念＞

私たち人類は、これまで自らの生活を豊かにするために活動を拡大し続けてきました。その結果、地球の資源を消費し、排気ガスや廃棄物など、環境に対して大きな負荷を与えてきました。

このまま環境への負荷を減らすことなく活動を続ければ、地球の環境は破壊され、生命の生存すら危ぶまれる状態となることは想像に難くありません。環境を守ることは、私たちに与えられた使命であると言えます。

地球環境問題は多くの複雑な問題を抱えています。いくつかの対策を実施したことで簡単に結果が出て解決されるというものではありません。問題の解決のためには、行政や事業者、市民がそれぞれの立場で、できるところから地道な努力を積み重ね、大量生産、大量消費、大量廃棄に裏付けられた社会経済活動や生活様式を見直し、社会全体を環境への負荷が少ない持続的発展が可能なものに変えて行くことが必要です。

府中市は、これまでも施策の中で環境にやさしいまちの創出を進めてきました。また、職員自らも環境負荷が少ない事務事業の実施を目指して、庁舎や各施設で省資源、省エネルギー、ごみ減量、リサイクル、緑化などに努めてきました。しかし、最近の国際的な地球温暖化への取組や国内の環境に関する法律の制定など、新たな環境保全への対応が進展するなかで、府中市職員は、市が事業者でありかつ消費者であることをここでもう一度認識し直し、自ら環境負荷低減のための行動をこれまで以上に推進することにより、先導的な役割を担うことが環境問題解決のためにきわめて重要であると考えます。

今、私たち府中市職員は、できるところから、自主的、積極的、継続的に環境負荷低減のための活動を進めます。

### ＜基本方針＞

府中市は、自らが行う事務事業が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、全職員が一体となって、環境保全活動に取り組みます。

- 1 「府中市職員エコ・アクションプラン」を推進するなかで、特に次の項目については優先して取り組み、事務事業に伴う温室効果ガスの排出を始めとする環境負荷の低減に努めます。
  - (1) 電気、燃料、ガス等の使用量削減による省エネルギーの推進
  - (2) 紙、水道等の使用量削減による省資源の推進
  - (3) グリーン購入の推進
- 2 府中市環境基本計画に基づき、府中市環境行動指針に示す環境保全の取組を積極的に推進します。
- 3 公共工事の実施に当たっては、計画の段階から環境への影響に配慮し、環境負荷低減に努めます。
- 4 環境目的及び目標を設定し定期的な見直しを行い、環境負荷低減施策の継続的改善を進めます。
- 5 環境関連法令等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

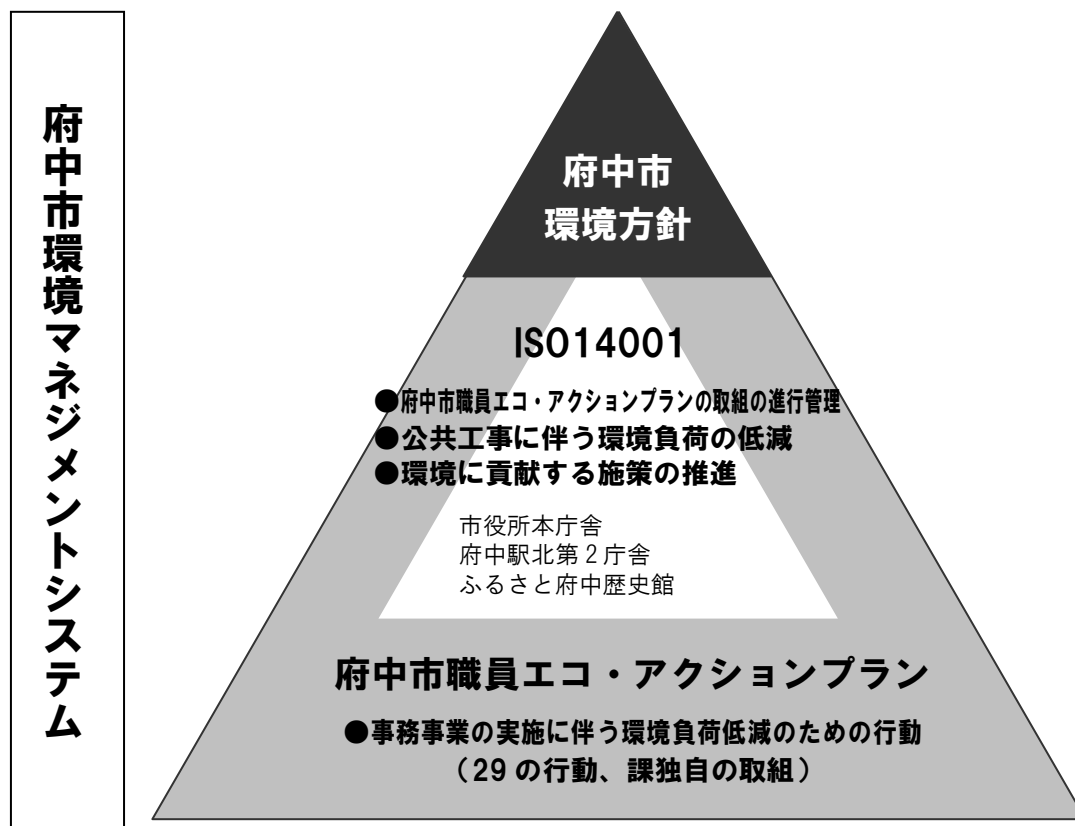
平成24年2月10日

府中市長 高野 律雄

# ■ 環境方針の実現に向けた行動

府中市では、府中市職員エコ・アクションプランを中心とした環境マネジメントシステムに基づいた環境負荷低減対策を、より積極的に推進するため、国際標準化機構（ISO）※<sup>1</sup>が定めた環境管理に関する国際規格 ISO14001※<sup>2</sup>を平成14年2月に取得し、平成23年2月に3度目の認証を更新しました。

府中市環境マネジメントシステムは、ISO14001の対象範囲のほか、対象範囲以外で府中市職員エコ・アクションプランのみが適用になる取組も含めた、府中市全体での取組を対象範囲としています。



## ※1 国際標準化機構（ISO）

ISOは、「国際標準化機構（International Organization for Standardization）」の呼称です。スイスのジュネーブに本部を置く非政府組織（NGO）で、工業製品やサービスなどの国際的な規格の制定や標準化を目的として設立された国際機関です。

## ※2 国際規格 ISO14001

ISOが定めた環境に配慮するための仕組みを定めたシステムの規格です。PDCAサイクル（計画立案→実施・運用→点検・評価→見直し）を回すことで活動の進行管理を行い、継続的な改善を進めます。ISO14001を認証取得したということは、環境に配慮した仕組みが国際規格に適合し、運用・維持されていることの証明になります。日本では、JIS Q 14001として発効されています。



## ■実践行動のための計画・仕組み

府中市職員エコ・アクションプランと ISO14001 に適合した取組は、計画を立て（Plan）、計画に基づいた取組を実施・運用し（Do）、その結果を点検・評価し（Check）、さらに取組結果をもとに計画を見直す（Act）という、PDCA サイクルによって、継続的な改善を図ります。

平成23年度から27年度までの5か年間で第3次府中市職員エコ・アクションプランの取組期間とし、環境負荷低減行動の取組を推進しています。

### ●（第3次）府中市職員エコ・アクションプラン

目 的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動を自ら率先して実行することにより、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全施策の推進を図る。
位置づけ	・地球温暖化対策の推進に関する法律第20条3の「地方公共団体実行計画等」（事務事業） ・府中市環境基本条例第12条「環境管理及び環境監査」の実施
計画期間	平成23年度～平成27年度（5年間） 基準年度：平成21年度
対象範囲	対象施設：府中市内の市立学校を除く市の施設 対 象 者：全職員
取組内容	・事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための行動

### ●ISO14001 に適合した取組

目 的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を、自ら低減するための計画。
対象範囲	対象施設：市役所本庁舎、府中駅北第2庁舎、ふるさと府中歴史館 対 象 者：対象範囲に勤務する職員（正規職員及び臨時職員）並びに常駐する委託業者
取組内容	・府中市職員エコ・アクションプランの取組 ・公共工事に伴う環境負荷の低減 ・環境に貢献する施策の推進

# ■ 環境目的・目標と実績

## ■ 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標

第3次府中市職員エコ・アクションプランでは、平成23年度から27年度までの5か年地球温暖化防止への貢献を目的とし、平成27年度の温室効果ガス排出量を、基準年度（平成21年度）比で5%以上削減する目標を定めています。

この目標の達成に向けて、省エネルギー・省資源、グリーン購入といった取組を推進しましたが、平成23年度の温室効果ガス排出量は、基準年度値11,988CO<sub>2</sub>換算tから16%減少し、10,066CO<sub>2</sub>換算tとなりました。

この結果は、全庁的な節電対策による電気使用量の減少や毎年度変わる電気の二酸化炭素排出係数の変化などが要因と考えられます。

### ● 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標 (平成21年度比)	基準年度値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)	平成23年度 実績値	評価	
地球温暖化防止 への貢献	温室効果ガス 排出量	5%以上 削減	11,988 CO <sub>2</sub> 換算t	11,389 CO <sub>2</sub> 換算t	10,066 CO <sub>2</sub> 換算t	(^o^)

#### 【評価凡例】

(^o^)：27年度目標レベルをすでに達成している

(> <)：目標値よりも環境負荷が増大している

## ■環境負荷低減行動に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、電気使用量や各種燃料の削減低減【省エネルギー】、紙・水道・文房具等の削減【省資源】、庁有車の走行距離の削減、環境にやさしい車の使用【グリーン購入】といった環境負荷低減行動について環境目的・目標を設定し、取り組んでいます。

次の表では、各環境目標について、平成23年度実績値が、目標値に向けて、取組が進んできたかどうかを2段階で評価しました。

### 【評価凡例】

(^o^) : 27年度目標レベルを達成

(> <) : 27年度目標レベルを未達成

日常的な施設・設備の稼動において、省エネルギーの推進を徹底、工夫をしていく必要があるといえます。

### ●環境負荷低減行動に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標	(平成21年度比)	基準年度値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)	平成23年度 実績値	評価
省エネルギーの推進	電気使用量の削減	5%以上削減	19,656MWh	18,673MWh	16,594MWh	(^o^)
	燃料使用量の削減					
	ガソリン	5%以上削減	45,847L	43,555L	40,266L	(^o^)
	軽油	5%以上削減	34,245L	32,533L	29,051L	(^o^)
	灯油	5%以上削減	528,384L	501,965L	500,651L	(^o^)
	都市ガス	5%以上削減	934,170m <sup>3</sup>	887,462m <sup>3</sup>	1,000,713m <sup>3</sup>	(> <)
	LPGガス	5%以上削減	49,160kg	46,702kg	48,460kg	(> <)
省資源の推進	紙使用量の削減	5%以上削減	78,487kg	74,563kg	77,195kg	(> <)
	水道使用量の削減	5%以上削減	266,654m <sup>3</sup>	253,321m <sup>3</sup>	246,972m <sup>3</sup>	(^o^)
	文房具等使用量の削減	5%以上削減	14,039千円	13,337千円	12,594千円	(^o^)
省エネルギー・省資源・公害防止	車の走行距離の削減	5%以上削減	545.0千km	517.8千km	504.4千km	(^o^)
グリーン購入の推進	環境にやさしい車の使用	構成比全体の60%以上	40.9%	60.0%	43.9%	(> <)



# 「地球環境にやさしい生活」 私たち職員はここに宣言します。

## 府中市職員環境宣言

私たち職員は、地球温暖化防止を始めとする地球環境の保全に寄与できるように、職場から家庭に至るまで、職員一人ひとりが自主的、積極的に取り組みます。

職員一同は、この宣言を心にとめて、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動（環境負荷低減行動）を、自ら率先して実行していきます。

### 行動に当たっての基本的視点

- ① 事務事業における無駄をなくすことにより環境負荷を低減します。
- ② できるところから自主的、継続的に進めます。
- ③ 環境負荷低減行動が習慣となることを目指します。

## ■ 環境負荷低減行動

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、全職員が事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための次のような行動を実践しています。

また、職員に対しては、家庭に帰って、日常生活のなかでも自主的、積極的に取り組むように務めるよう、協力を呼びかけています。

- 1 レジ袋は受け取らない。
- 2 昼休み、就業前後及び残業時の不必要な照明は消灯する。
- 3 OA機器の未使用時は電源を切るか、省エネモードにする。
- 4 毎週水曜日はノーカーデーを実施し、水曜日以外にもできる限り車を使用しない。
- 5 車のアイドリングは止める。
- 6 車を使用する際には、エコドライブを実践する。
- 7 片面使用済紙の再利用や両面コピーを徹底し紙の使用量を削減する。
- 8 必要最低限の枚数しかプリントアウトしない。
- 9 使用済み封筒を再利用する。
- 10 ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。
- 11 階数の差が3階までは上りのエレベータには乗らない。
- 12 下りのエレベータには乗らない。
- 13 トイレの便座シートやウォシュレットの温度設定は色目盛りの下端を最大とし、夏はさらに低めにする。
- 14 トイレのウォシュレットの電源は、土日等使用しない時は切る。
- 15 湯水を流しながら使用しない。
- 16 環境にやさしい商品を購入する。
- 17 物品の購入は必要最小限にする。
- 18 必要以上の印刷、コピーはしない。
- 19 コピー機の未使用時は電源ボタンを押し省エネモードに設定する。
- 20 退庁時はコピー機の主電源を切る。
- 21 使い捨ての箸、スプーン等は使わない。
- 22 シュレッダーの未使用時は電源を切る。
- 23 会議室の冷暖房温度は、夏28℃以上、冬20℃以下に設定する。
- 24 クールビズ、ウォームビズなど快適に過ごせる服装を心がける。
- 25 会議室の冷暖房や照明は会議開始の10分前まではつけない。
- 26 ブラインドやカーテン等の利用により照明・空調の効率化に努める。
- 27 ファイリングシステムの徹底により、必要以上の資料を印刷しない。
- 28 イベントを開催する際の電力は、グリーン電力を使用する。
- 29 各自が自主的、継続的な行動を積極的に推進する。

## ■環境負荷低減行動の実施状況

第3次府中市職員エコ・アクションプランの取組を確実に行うため、全職員に対する周知・徹底を図っています。

### ●レジ袋は受け取りません。

#### 買い物は、いつでもどこでも、マイバッグ

レジ袋は1枚当たり約5gで、成分は炭素が約80%を占めています。これが燃やされると、相当な量の二酸化炭素が発生します。

#### ■市民マイバック持参運動推進中

廃棄物の発生抑制や減量を図り、環境にやさしいライフスタイルの推進をするため、市民マイバック持参運動を実施するものです。

マイバック運動は、市民、事業者及び市職員による府中市民マイバック持参運動実行委員会が主体となって運動を推進しています。より多くの市民のソフトパワーを生かすために実行委員会の付属組織として設置された「府中市民マイバッククラブ」と連携し、効率的かつ効果的に運動を推進しています。

#### ■マイバックデーの制定

毎月5日を「マイバックデー」とし、商店街やスーパーマーケット等において、マイバック持参の呼びかけや持参率調査等を行う市民マイバック持参キャンペーンを実施しています。

### ●昼休み及び就業前後の消灯。残業時の不必要な照明の消灯。

#### スイッチ一つで二酸化炭素27kg

府中市役所本庁舎の蛍光灯は、事務室全体で約2,400本あります。これに使用されるエネルギーは1時間で約96kwです。

昼休みにこのうち各職場の70%（壁のスイッチ6個所のうち4個所）を消したとすると、昼休みだけで約67kwの電力量が節約できます。これは二酸化炭素約28kgを削減したことになり、電気料金は1,564円/時となります。1年間（20日×12か月＝240日で計算。以下同じ。）では二酸化炭素約6.7t、電気料37.5万円となります。

### ●車を使用する際には、エコドライブを実践する。

#### ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、アイドリングはやめましょう。10分間のアイドリング（エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を消費します。

● 片面使用済紙・両面コピーの使用・紙の使用量削減。

● ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。

### 資源節約

紙は大切な資源です。また、資源の節約はごみ減量の第一歩。府中市職員は、紙の使用量削減に取り組んでいます。

再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めるほか、ごみの減量やリサイクルのルールを徹底しています。

たとえリサイクルしているからと言っても、大量使用することは環境負荷を増大させます。

府中市はすでに、再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めています。今後もこれらの取組を続けます。

#### ■ 10年間でごみの50%削減を目指します

府中市では、平成16年度から平成20年度までの5年間で、家庭ごみ及び事業ごみの1万トンのごみ減量を行うため、「1万トンごみ減量大作戦」を展開しました。

さらに、平成22年2月2日から、家庭ごみの個別収集及び「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「容器包装プラスチック」について、指定収集袋による有料化を実施しています。

#### ■ 各課で独自に取り組んでいます

各職場では、前述の重点取組に加え、自主的に取り組む項目を定め、課独自の取組を実施しています。

##### 【各課独自の取組の例】

- ・ 市役所から2キロ以内の現場調査等は自転車を使用する。
- ・ パソコンで文書等を作成する場合、画面上で校正するとともに出力する場合は両面印刷、2in1印刷、白黒印刷等を基本とする。
- ・ 庁内や課内LANで情報を共有し、無駄な紙を使わない。
- ・ 来客時に使用する食器類を洗う際の洗剤の使用量を減らす。
- ・ エコキャップの分別収集をし、リサイクルをする。
- ・ 私用で出したごみは持ち帰る。
- ・ 庁内連絡時など可能な限り封筒を再利用する。
- ・ マイバッグ、マイボトルを持参する。
- ・ ホチキスは使用せず、ガチャ玉やクリップを使用する。
- ・ 事務室の整理整頓を心がける。
- ・ エレベータを使わず、階段を利用する。

# 公共工事に伴う環境負荷の低減

ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムでは、市が実施する発注金額 500 万円以上の公共工事について、計画の段階から取り組むべき指針として「府中市公共工事に係る環境配慮指針」を定めています。

平成 23 年度は、文化スポーツ部ふるさと文化財課、国体推進室、都市整備部土木課、公園緑地課、下水道課、建築課、が実施した 131 件の該当工事において、この指針に基づく環境配慮を実施しました。

## ●府中市公共工事に係る環境配慮指針の概要

目的	目標		手順	
府中市の発注する公共工事の環境配慮を推進する。	重機等建設機械の低公害型機械の使用率	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書に低公害型機械の使用を記入する。</li> <li>工事中に仕様書の内容が実施されているかを確認する。</li> </ul>	
	リサイクル目標	アスファルト塊	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書にリサイクルの推進を記入する。</li> <li>東京都建設リサイクル推進行動計画等の手法を採用して、工事を実施する。</li> </ul>
		コンクリート塊	100%	
		建設泥土	60%	
		建設混合廃棄物	60%	
		建設発生木材	100%	
建設発生残土の有効利用等	90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効利用</li> <li>現場での埋め戻し</li> </ul>		

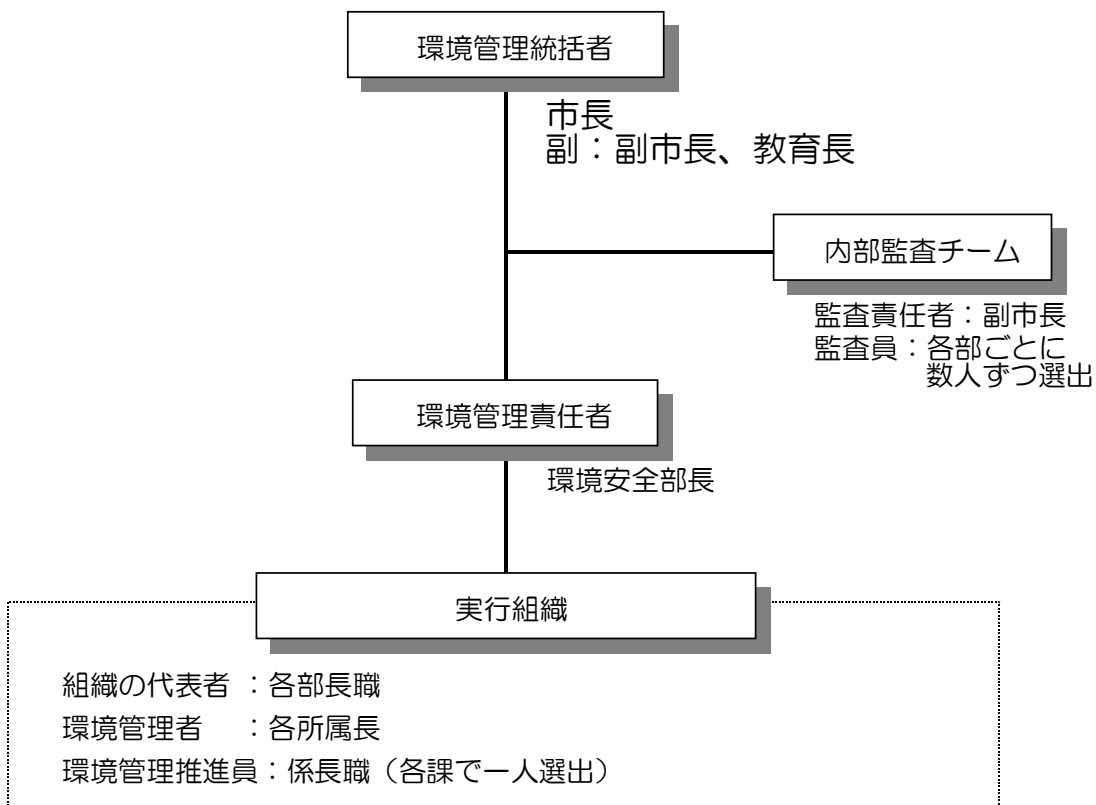


# ■ 環境マネジメントシステム

## ■ 推進体制と役割、責任

府中市職員エコ・アクションプランの効果的な実施・運用のために、府中市環境マネジメントシステムを準用し、管理及び内部監査のための推進体制と役割・責任を定め、各職員に周知徹底を図っています。

### ● 推進体制



## ■環境研修の実施状況

全職員一丸となった取組を推進するため、役職に応じた、研修を実施しています。

### ●環境研修実施状況

研修種類	対象者	内容・目的	講師	回数 (回)	参加者数 (人)
管理職研修	部課長職相当以上の職員	環境マネジメントシステムの重要性の理解、幹部職員としての能力・自覚の向上。	外部	2	88
環境管理推進員研修	環境管理推進員	環境リーダーとしての能力・自覚の向上。	外部	2	42
新任職員研修	23年度採用職員	環境に関する自覚を高め、市の環境方針、目的及び目標の理解。	事務局	1	57
職場内研修	所属職員	日々、職場の業務を通じて理解を深める。	所属長	61	944 (延べ)
特定業務研修	特定業務従事者	環境に負荷を与えるような特定業務に係る専門知識・技術の習得。	外部	0	0
環境監査員研修	環境監査員候補者	環境監査に必要な専門知識・技能の習得。	外部	1	13

## ■環境コミュニケーションの状況

### 他機関への依頼等の実績

事務事業の実施にあたり、委託業者や指定管理者などに委託発注を行う都度、所属から環境負荷低減に対する協力を依頼しています。

### HP等による情報提供

府中市ホームページでは、「府中で暮らす＞生活環境＞環境」のページに、府中市エコ・レポートを、PDF ファイルによりダウンロードできるようにしています。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# ■ 環境監査の結果

## ■ 平成23年度内部環境監査

環境監査は、環境マネジメントシステム、府中市職員エコ・アクションプランによる計画が、適切に実施・維持されているかどうかを、職員同士、チェックし合うものです。府中市役所では、毎年度、環境監査員を養成する研修を実施しており、平成23年度は、15人（昭島市職員2人含む）の環境監査員を認定し、監査を実施しました。

今回の監査では、監査員から文書の作成及び管理について、指導・助言を推進事務局及び監査対象課に対し行いました。

また、平成22年度から内部環境監査において協力関係のある昭島市職員にも環境監査員として監査に参加していただきました。この相互監査については、昭島市に加え、調布市、日野市の4市で相互監査の体制を構築することを目指しています。

## ■ 外部審査（ISO14001 定期審査）

ISO14001 の対象施設では、審査登録機関（財団法人日本品質保証機構）による定期審査を受審しました。審査による指摘事項等は、次のとおりです。

### ● 外部審査結果

評価区分	意味合い	件数
改善指摘事項	指摘されたことは必ず改善しなければならない事項	0件
グッドポイント	運用の成果として評価できるもの	2件
改善の機会	指摘事項ではありませんが、改善されたほうが良いもの	9件

### 【「グッドポイント」の内訳】

- ① 内部監査について、昭島市と相互監査を行い、同じ自治体の視線で相互啓発に繋がっている。直近の監査では、「良い点を探すこと」を設定したり、監査項目を工夫しているため、監査員のレベルアップやマンネリ化の回避、新しい視点での監査の実施に繋がっていた。
- ② ごみ減量推進課では「10年間でごみ50%削減」の目標に向け日々の活動に努め、平成13年度比で38.2%削減の成果を上げています。また、「ごみの取り残し」等の苦情・意見も削減傾向にある。

## ■ 職員の声

さて、職員は、どのようなことを感じながら、取り組んでいたのでしょうか？  
職員の声をまとめました。

### 【取り組んできて良かったこと】

- 昼休みの消灯や退庁時のOA機器等の電源オフは習慣化することができた。
- 夏の節電の取組が夏以降も継続できている。
- 削減の目標値が決まっているので、目標を達成しようというモチベーションがあがる。
- 職員の取組が、家庭にも広がるようになった。(節電、省エネ)
- 課内研修の回数が増え、環境に対する意識がより高まった。
- 自転車の利用回数が増えることは、環境に優しいだけでなく健康にも良いと思った。
- 環境監査において他市の職員が参加することは良い緊張感があり、有意義だと思う。

### 【問題・課題】

- 府中市職員工コ・アクションプランが作られてから数年が過ぎ、職員の中でも活動がマンネリ化しはじめているような気がする。
- ノーカーデーや庁内の温度設定などにより、事務の効率が悪くなる。
- もっと市職員が率先して取組を推進しなければ、市民や事業者に対して協力を呼びかけられないのではないか。
- 環境への取組やISO14001に係る職員の事務量が多いわりに効果が見えにくい。
- 他部署の活動も知りたい。

### 環境管理責任者から

平成23年度から第3次府中市職員工コ・アクションプランに基づき取組を推進しております。

夏の節電の効果もあり、電気使用量は削減することができましたが、継続していくことが大切ですので、職員一丸となり地球温暖化対策を実践していきます。

## **府中市エコ・レポート（平成23年度報告）**

発行日／平成25年3月

編集・発行／環境安全部環境政策課

〒183-0056 東京都府中市寿町1-5

府中駅北第2庁舎7階

電話（042）364-4111（代表）

（042）335-4196（直通）

FAX（042）361-0078

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>